児童だより

しゃぼん玉

No.423
2020ねん
4がつごう

にしのみやしりつとしょかん

はじまりのほん

春ははじまりの季節。入学やクラスがえなど新しい生活にどきどきしている人もいるかもしれませんね。「はじめて」学校にいくおはなしや、身のまわりのものの「はじまり」を知ることができる本をしょうかいします。

『ふたりはともだち』

アーノルド・ローベル／作
三木卓／訳　文化出版局
９３２ロオ

かえるくんはがまがえるくんのいえにいって大きなこえでよんだ。「おきなよ、はるがきたんだよ」。

『ドキドキ新学期』

はやみねかおる／作
田中六大／絵　講談社
９３１ハヤ

４月、小学１年生になった妹の春といっしょに学校に行くタケシは３年生。すきなものはサッカー、カレー。苦手なのは九九。犬もダメ。あと妹の春についてもなやみがあって…。

『ソフィー、がっこうへいく』

パット・ジトロー・ミラー/文
アン・ウィルスドルフ/絵
二宮由紀子/訳　光村教育図書
Ｅ４ウイ

ソフィーはきょうから１年生。「たくさんおともだちができそうね」とママ。でもソフィーには学校はぜんぜんおもしろくなんかない。いすはかたくてせまいし。でも…。

『はじまりはたき火』

火とくらしてきたわたしたち

まつむらゆりこ／作　小林マキ／絵　福音館書店
５１

今ある便利な暮らしもすべては「火」からはじまった。わたしたちはいつからどのように「火」と関わってきたのだろう。

『モノのはじまりえほん』日本人なら知っておきたい!

荒俣宏／監修　ふわこういちろう／イラスト　日本図書センター　０３

この世のどんなものにも「はじまり」がある。日本人が生み出した「モノ」もたくさんあるよ。つぎに「モノ」を生み出すのはきみかもしれない。

★えほん★　あたらしい

「いっぴきぐらしのジュリアン」

ジョー・トッド - スタントン／作
いわじょうよしひと／訳　岩崎書店　Ｅ４トツ

　のねずみのジュリアンは、だれともなかよくせず、いっぴきでくらしていた。きょうもだれにもあわず、ぶじにすあなへかえる。そのよる、きつねがジュリアンのすあなにしのびより、ズボッととびこんだ！
　きつねはするどいはをむきだして…。

「おまつりをたのしんだおつきさま
メキシコのおはなし」

マシュー・ゴラブ／文　レオビヒルド・マルティネス／絵
さくまゆみこ／訳　のら書店　Ｅ１オマ

　たのしいあそびやおまつりは、おひさまのせかいでしかみられない。よるがおわるとねむくなるおつきさまは、おひさまのせかいをみることができなかった。ところがあるひ、おつきさまはにぎやかなおとでめがさめた。みんながおまつりをたのしんでいたのだ。

★よみもの★

「〈死に森〉の白いオオカミ」

グリゴーリー・ディーコフ／作　ディム・レシコフ／絵
相場妙／訳　　徳間書店　９３２テイ

　昔、貧しい村の村人たちが、「人間が手を出してはならない」という言い伝えのある森を焼きはらってしまった。それからその森は「死に森」と呼ばれ、村人が次々とオオカミにおそわれるようになった。ロシアの昔話をもとにした少しこわいお話。

「テニスキャンプをわすれない
スポーツのおはなし　テニス」

福田隆浩／作　pon-marsh／絵　講談社　９３１フク

　「もうテニスやめたい！」ジュニア・テニスキャンプに参加しているサオリは一日目で自信をなくしていた。上級生ばかりで、テニスが上手な子ばかり。夜のホテルのロビーで泣いていると、上品なスーツ姿のおじいさんに話しかけられて…。

本のコーナー

「チンチラカと大男（おおおとこ）　ジョージアのむかしばなし」

片山ふえ／文　スズキコージ／絵　ＢＬ出版
Ｅ１チン

チンチラカは大男の持（も）っている黄金（おうごん）のつぼをとってくるように、王（おう）さまにいいつけられた。魔（ま）の山（やま）にすむ大男は、人（ひと）びとにおそれられていた。チンチラカがちえをしぼってつぼをもってかえってくると、王さまは大（おお）よろこび。こんどは黄金のパンドゥリという楽器（がっき）がほしいといいだした。

「まちがいまちにようこそ」

斉藤倫・うきまる／さく　及川賢治／え
小峰書店　Ｅ３オイ

ぼくがひっこしたところは「まちがいまち」っていう。はたけには、いちめんのはな…じゃなくて**あな**がひろがり、おうちのやねにはりっぱなえんとつ…じゃなくて**えんぴつ**がのってる。なつは**はなぢたいかい**、ふゆは**すもうぼーど**であそぶんだ。まちがいまちってたのしいな。

「ねこと王（おう）さま」

ニック・シャラット／作・絵　市田泉／訳
徳間書店　９３２シヤ

火（ひ）をふくドラゴンにおしろをもやされてしまった王さまは、なかよしのねこといっしょに小（ちい）さな家（いえ）にひっこす。「ゆびぬきがり」や「おしろのいす」をなつかしむ王さまのために、ねこはいろいろくふうをしてやり、また王さまもいろいろなことをおぼえていく。

「はるかちゃんが、手（て）をあげた」

服部千春/作　さとうあや/絵　童心社　９３１ハツ

はるかちゃんは学校（がっこう）では話（はな）すのがこわくて、はずかしくて声（こえ）をだせない。うちではだれとでも話せるけど。二年生（にねんせい）になった今（いま）でもかわらない。もうクラスのみんなもはるかもなれっこ。そんな時（とき）、席（せき）がえで一番（いちばん）元気（げんき）のいいあきらくんがとなりになった。

★しらべもののほん★

「お蚕さんから糸と綿と」

大西暢夫／著　アリス館　６３

お蚕さんはすごい生きものだ。お蚕さんが繭を形づくるために吐き出す繊維が、生糸になり、真綿にもなる。羽ばたこうとする寸前の命を絶ち、人の手によって温もりへと変え、人々の生活を豊かにしてくれたお蚕さん。お蚕さんが繭になり、糸や綿になるまでを写真とともに紹介している。

「大人になってもこまらない！キモチの整理術」

篠真希／監修　ポプラ社　１４

きみは友達に思わずどなってしまったり、イライラして家族にやつあたりしてしまったことはあるかな？そんなときは、いやな気分からなかなかぬけだせなくなるよね。でも自分の気持ちを整理する方法を知っておけば大丈夫。この本で気持ちをコントロールするレッスンを受けよう。

「日本女子レスリング」

布施鋼治／編著　汐文社　７８

２０１９年女子ワールドカップで５大会連続優勝を果たした日本の女子レスリングチーム。「東京オリンピックでは全階級で金メダルをとるつもりでいます」と強化委員長が宣言したんだって。どうしてこんなに強いのか。選手の秘密にせまってみよう。

「わかる！応援できる！パラスポーツ事典　パラリンピック夏の２２競技」

髙橋明／監修　メイツユニバーサルコンテンツ　７８

２０２０年東京オリンピック・パラリンピックは、残念ながら開催延期された。

この本では、２２のパラスポーツ競技について写真やイラストを使って、詳しく紹介している。楽しく知って次のパラリンピックを待とう。